

| | | | | |
|--------------------------|--|------|---|----------|
| 1. 科目名 (単位数) | 比較文化学演習 (2 単位) | | 3. 科目番号 | EJJP3382 |
| 2. 授業担当教員 | 古田 高史 | | | |
| 4. 授業形態 | 講義、ディスカッション、プレゼンテーション | | 5. 開講学期 | 秋期 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | | | | |
| 7. 講義概要 | 比較文化とは、他文化を通して自文化を客観的にみつめ、それぞれの文化がもつ固有性や共通性をみていく学問領域である。文化を比較するといっても各文化のもつ背景は様ではないため単純に比較することはできないが、比較は物事の本質や性質を認識するための方法の一つである。 本講義では、比較文化の入門書をテキストとして使用する。「比較日本文化論」のテキストでも扱った文献をはじめ、複数の文献が取り上げられている。テキストで扱う内容については、履修者の意見も取り入れながら、調整して進めていきたい。 | | | |
| 8. 学習目標 | 1. 表面的な差異だけでなく、文化間の交差や文化受容などについて理解することができる。 2. 異文化の事象を通時的・共時的に考察することができる。 | | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題 | 1. レポートのアウトライン作成：第4回授業、第6回授業、第9回授業、第11回授業、第14回授業において、各章の分析方法を参考にして、自らの関心を持つテーマについて、研究の計画を作成する。 2. 比較文化の視点からのレポートの作成：レポートのアウトラインを踏まえ、第15回授業において、口頭発表を行い、最終レポートを執筆する。 | | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | 成蹊大学文学部学会編『データで読む日本文化 高校生からの文学・社会学・メディア研究入門』風間書房、2015 年 | | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | ○成績評価の規準 (学習目標) 1. 表面的な差異だけでなく、文化間の交差や文化受容などについて理解することができたか。 2. 異文化の事象を通時的・共時的に考察し、説明することができたか。 ○評定の方法 1. 授業態度 20%：積極的な参加。私語、居眠り、飲食、携帯電話などの使用は厳禁。 2. グループ・ディスカッション 40%：ディスカッションの結果発表、Work Sheet の提出により評価。 3. レポート 40%：レポート内容、提出期限の遵守により評価。 なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は原則として認められない。 | | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | この授業を通して、受講生が身の回りの文化に関心を持ち、各自の関心に応じたテーマを見つけられるように進める。そのため、受講生の関心や状況、受講生数に応じて、扱うトピックなどの調整を行う場合がある。受講に際して、特に以下の点には注意すること。 1. 欠席、遅刻、早退などせず、積極的に参加すること。 2. 提出物、宿題は必ず提出すること。 3. 授業での配布物はなくさないこと。 4. 教科書は毎回必ず持参すること。 5. 分からないことは、担当教員に必ず質問、確認をすること。 6. 授業に関係のない私語はしないこと。 | | | |
| 13. オフィスアワー | 授業内で周知する | | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | | |
| 第 1 回 | 授業概要の説明 はじめに | 事前学習 | はじめに pp. 1-5 を読み、教科書の中で興味があるテーマについて考えてみる。 | |
| | | 事後学習 | 目次 pp. 7-8 を読み、日本文化について知っていることを書き出してみる。 | |
| 第 2 回 | 第 1 章 源氏物語 1 イントロダクション | 事前学習 | 本文 pp. 1-8 の引用文について、分らない語句を調べておく。 | |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 1-8 を踏まえ、源氏物語の特徴を考えてみる。 | |
| 第 3 回 | 第 1 章 源氏物語 2 十七世紀の二図の比較 | 事前学習 | 本文 pp. 8-15 の図について、教科書での説明をまとめてみる。 | |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 8-15 を踏まえ、図 2～図 4 について紹介文を作成する。 | |
| 第 4 回 | 第 1 章 源氏物語 3 あさきゆめみしと原作の比較 | 事前学習 | 本文 pp. 15-20 を読み、あさきゆめみしの特徴について整理しておく。 | |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 21-25 を読み、源氏物語についての研究アプローチを考えてみる。 | |
| 第 5 回 | 第 2 章 和食 1 イントロダクション | 事前学習 | 本文 pp. 27-30 を読み、和食について説明できるようにしておく。 | |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 27-30 を読み直し、和食について情報を集めてみる。 | |
| 第 6 回 | 第 2 章 和食 2 データ | 事前学習 | 本文 pp. 30-39 を読み、和食のデータについて説明できるようにしておく。 | |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 39-41 を読み、和食についての研究アプローチを考えてみる。 | |

| | | | |
|------|------------------------------|------|--|
| 第7回 | 第3章 おみくじ 1 イントロダクション | 事前学習 | 本文 pp. 43-48 を読み、おみくじについて説明してみる。 |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 43-48 を踏まえ、おみくじについて知っていることをまとめてみる。 |
| 第8回 | 第3章 おみくじ 2 日本の神と和歌 | 事前学習 | 本文 pp. 49-57 を読み、日本の和歌の特徴を考えてみる。 |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 49-57 を読み直し、おみくじと和歌の関係について考えてみる。 |
| 第9回 | 第3章 おみくじ 3 和歌みくじの近代 | 事前学習 | 本文 pp. 57-61 を読み、明治時代以降のおみくじについて整理してみる。 |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 61-66 を読み、おみくじについての研究アプローチを考えてみる。 |
| 第10回 | 第4章 スター 1 イントロダクション | 事前学習 | 本文 pp. 67-73 を読み、メディアが生み出すスター像について考えてみる。 |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 67-73 を踏まえ、関心のあるスターについて紹介してみる。 |
| 第11回 | 第4章 スター 2 理想像 3 ひまわりブランドのスター | 事前学習 | 本文 pp. 73-91 を読み、理想像とはどういうものかをまとめておく |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 91-93 を読み、スターについての研究アプローチを考えてみる。 |
| 第12回 | 第5章 敬老の日 1 イントロダクション | 事前学習 | 本文 pp. 95-99 を読み、教科書の高齢者についてのデータを説明できるようにしておく |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 95-99 を踏まえ、日本の高齢者についての情報を集めてみる。 |
| 第13回 | 第5章 敬老の日 2 尊ばれ、保護される高齢の人 | 事前学習 | 本文 pp. 99-106 を読み、「敬老の文化」について考えてみる。 |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 95-106 を踏まえ、「敬老の日」について説明してみる。 |
| 第14回 | 第5章 敬老の日 3 忌避すべき老い | 事前学習 | 本文 pp. 107-113 を読み、老いに対する考え方を整理してみる。 |
| | | 事後学習 | 本文 pp. 113-116 を読み、高齢者についての研究アプローチを考えてみる。 |
| 第15回 | データにもとづく比較文化についての発表 | 事前学習 | 教科書の研究アプローチを参考に、対象を決め、データ（文学・絵画・統計・雑誌など）を集め、発表原稿を作成する、 |
| | | 事後学習 | 質疑応答を踏まえ、発表原稿を清書する。 |